

2018年度 「海洋教育パイオニアスクールプログラム」 中間報告

2018年10月9日
高知県宿毛市立片島中学校

1年海の学習 講演会(4./26・6/26)とグラスボート体験学習(9/25)



黒潮生物研究所の目崎拓真さんから高知県南西部の海の自然環境についての講演とNPO 法人黒潮実感センター長の神田優さんから、宿毛湾の多様な海洋生物（約1000種類、日本一種類が多い）についての講演をおこなった。また今年度予定していた柏島（竜ヶ浜）でのシュノーケリング体験学習が、度重なる悪天候で実施できなかったため、代わりにグラスボートの体験学習を行い、海のサンゴの生態や海洋生物を見学した。

どちらも、身近な海の多様な生物や美しい自然環境を体験して知ること、故郷に誇りを持ち、やがて知り合う県内外の方々に堂々と語り合えることができ、観光産業にも寄与できる人材を育成するために実施した。身近な自然環境の素晴らしさを知り、体験できたことが心に残った生徒達が多かった。

2年海の学習 沖の島 自然体験学習(7/17)



宿毛市沖の島へは、定期船で1時間30分かかり、家族や友達同士で行った事のない生徒が8割近くいる現状がある。身近な沖の島の自然環境を講師の方から現地で説明を受け、体験を通して学ぶことにより、故郷に誇りを持ち、県内外の方々に対して自然環境の素晴らしさを語り合えることができ、観光産業にも寄与できる人材を育成するために実施した。生徒達の多くは、沖の島の海の色に感激し、自然環境を学び、きれいな砂浜の海岸で遊泳できたことが心に残る体験学習になった。